

ライオン通信

<URL><http://www.kooge.jp/> <e-mail>info@kooge.jp

Vol.93 平成23年9月10日発行

郡家コンクリート工業株式会社
〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷 206-1
TEL(0858)72-1154 FAX(0858)72-1614

『コンクリートが日本を救う』

— 鳥取県から全国へ —

来る10月28～29日に全国生コン青年部協議会主催の「第10回全国大会 in 鳥取県米子市」が米子コンベンションセンターにおいて開催されることになりました。

(この外構の洗い出し平板は当社が納入させていただきましたが、白華現象で黒い平板が白くなり、苦勞しながら施工した一生忘れ難い場所です)



米子コンベンションセンター BIG SHIP

開催まで2カ月を切り開催地の私たち鳥取県生コンクリート工業組合青年部は急ピッチで準備を進めています。

私たち鳥取県生コンクリート工業組合青年部は若手後継者の交流や人材育成などを目的に平成17年に設立され、生コン会社の経営者やそれに準ずる立場の人で構成され、定年50歳で現在会員数11名です。

ちなみに私は発会当初から副会長を仰せつかり一昨年50歳になったので定年、卒業させていただくはずでしたが、会員数が少ないため賛助会員として残らされています。鳥取県は日本で一番小さな県ですので、青年部の会員数も最小だと思いますが、全国大会ともなると準備が大変で、大きな都道府県ですら開催に名乗りを挙げるところが少ないのが現状です。

今回も開催に立候補する都道府県がなかったのですが、会長の「我々、鳥取がやろう。日本で一番小さな鳥取県で開催し、鳥取県を全国にPRしよう。」という発言に皆が賛同し、即決まりました。

過去の例から参加人員は150～200名程見込んでいますが、宿泊費や飲食費また翌日のゴルフコンペやエクスカッションでの経済波及効果は、私たちにすれば大きな地元貢献と胸を張れるものです。

大会テーマは「コンクリートが日本を救う」—震災復興と災害防止に果たす生コン業界の責任—と題し、『公共事業が日本を救う』(文春新書)で有名な京都大学教授の藤井聡氏に基調講演をお願いしています。民主党政権が発足し「コンクリートから人へ」などと愚かなスローガンを挙げ、多くの人たちを洗脳し、「公共工事＝悪」の風潮を植え付けました。その結果、インフラ整備が大幅に遅れ全国各地で地震や水害、雪害などの被害が相次ぎました。それだけでなくこの10年余りの間の公共投資の大幅な削減により、橋や道路の維持修繕が不足し、今後大きな事故が起きるのではないかと心配されています。(小紙においても『荒廃するアメリカの轍を踏むな』と題し何度か問題提起してきました)また、建設関連業界は地方においては雇用の大きな受け皿ですので、このような政策が雇用悪化の大きな原因になっています。

事例発表では「災害に対し地域の復興を支える生コン関連業界の取り組み」と題し岩手県/宮城県の被災・復旧事例報告を予定しています。



それ以外にも賛助企業各社のブース展示や各県青年部のパネル展示を行います。結果については小紙11月号でお伝えしますのでお楽しみに。



会計検査こぼれ話

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂7版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和 19 年生まれ。元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

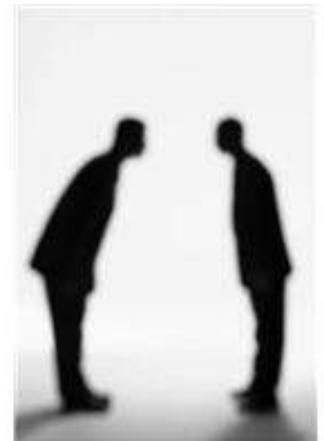
会計検査こぼれ話 : 「ぎょつとした名刺交換」

検査院職員は、仕事柄、名刺交換をする機会が多いのですが、この名刺交換でぎょつとした経験がありました。当時、自宅から最寄りの駅までの2 kmをバスで通勤していました。混雑するバスで、運が悪いと満員で通過されてしまうことがあり、そんなときは焦ります。

バスは、前方から乗車しますが、乗客は終点の駅で早く降りたいので奥へ詰めず、入口付近に止まっています。奥へ詰めるよう一生懸命促す運転手もいますが、なかには成り行き任せの運転手もいます。停留所で、目の前を通過するバスが本当に満員ならあきらめるのですが、乗客が前方に固まっていて、後方にかなり余裕のあるバスに通過されると腹が立ちます。

その朝も、バスに乗り込むと乗客は奥へ詰めず入口に滞っていました。そうした乗客の間を横向きになって通り抜けようとしたところ、つり革につかまっている一人の男が突然大きく尻を突き出してきたため、それ以上進めなくなりました。私の強引な突進に対する反感からの態度と思われるが、それにしても、尻を突き出して妨害されたのにはびっくり。むかついて、男の横顔をにらみつけましたが、男は窓の外を見たまま知らん顔。気難しそうな50代の男です。

それから数日後の朝、都内のある団体へ検査に行き恒例の幹部との名刺交換。理事長、専務理事と名刺交換し、次は経理担当理事。その理事は何とこの間のバスの中の男だったのです。驚きましたが、幸い相手は全く気付いていません。某省からの出向だそうです。経理関係の検査は担当ではなく、検査で接触することもなく済みました。それからしばらく後、鉄道新線が開業したので通勤でバスに乗ることもなくなり、その人とバスに乗り合わせることはなくなりましたが、1、2度近所のホームセンターで見かけたことがありました。もちろん声はかけてはいません。



それにしても、検査院にいると何千人もと名刺交換するので、自分の方はほとんど忘れていても、相手の方では結構覚えていて、気付かないところで、いろんな姿を見られているのかと心配になりました。



レオちゃんの製品紹介コーナー

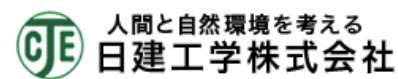


◆◆◆◆ ストーンブロック ◆◆◆◆

こんにちは。ライオン通信のレオちゃんです。



今月は、海岸・河川などの底面の洗掘を防ぐ強固なブロック『ストーンブロック』をご紹介します♪
施工が早い！幅広い用途で大活躍！



<http://www.nikken-kogaku.co.jp>



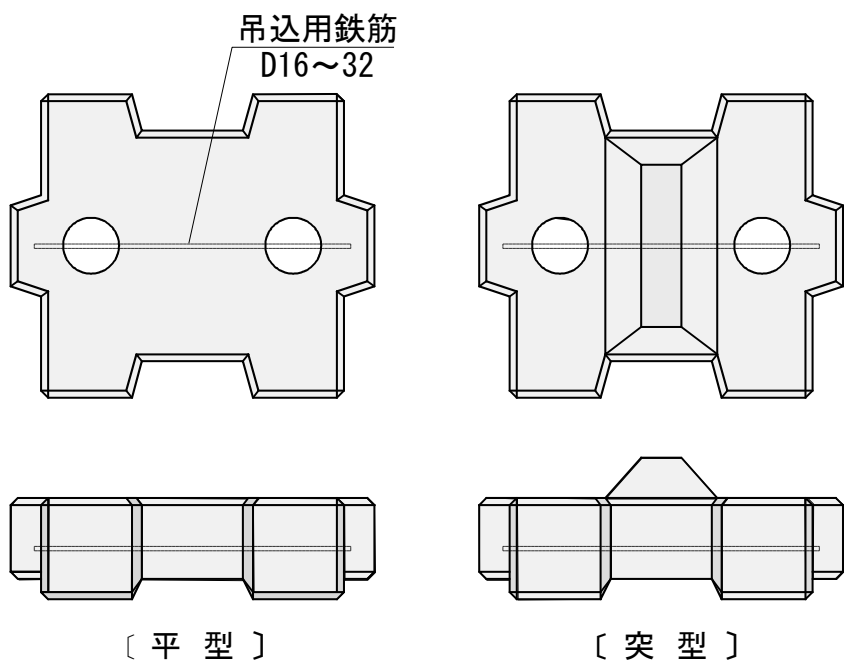
■ 概要

河川の根固工・護床工から海岸の人工リーフやマウンド被覆工まで幅広く使用できるように開発した省力化ブロックです。

■ 用途例

- | | |
|--|---|
| <p>河川 : 根固工、護床工、水制工、
橋脚根固工、導流堤</p> <p>砂防 : 流路工、床止工</p> | <p>海岸 : 人工リーフ、根固工、
離岸堤・潜堤・消波工の基礎、
防波堤マウンド、突堤被覆工、
ヘッドランド、緩傾斜護岸工</p> |
|--|---|

製品図



■ 特徴

- (1)多様な規格と種類
使用目的に応じた質量及び形式が選択できます。
- (2)安定した形状
重心が低く、波や流れに対して安定です。
また、ブロックに設けた円孔は揚圧力を軽減します。
- (3)連繋性のよい配列方法
かみ合わせ配列はブロックの凹凸部がお互いにかみ合うので連繋性に優れています。
- (4)減勢効果が高い
突型の被覆工は、突起部が交錯するため波や流れの遡上を減勢します。
- (5)製作が容易で経済的
平打ちのためコンクリートが打ち易く、かつ型枠面積が小さいので経済性に優れています。
- (6)護岸ブロックの水理特性値証明書取得
(護性証第 0088 号)



製品質量の規格は0.5トン～40トンまでございます！

■ 質量の算定

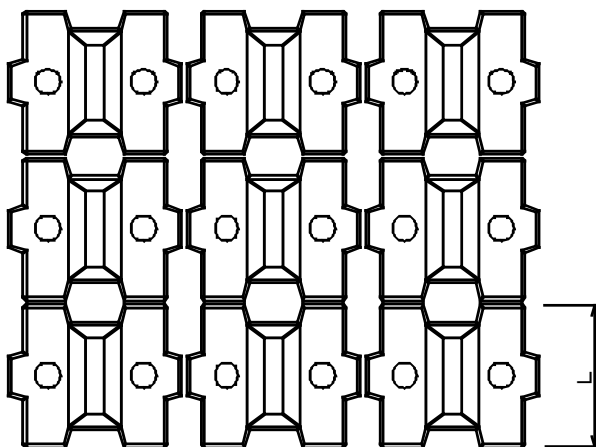
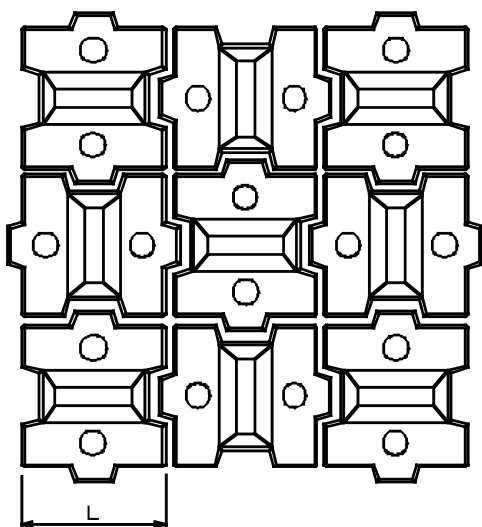
一般に河川根固工や護床工に使用されるブロック質量を決定する際には、近傍のブロック使用実績や計画高水流量や河床勾配などの河川の規模や、転石の有無などの現場状況を参考に使用質量を仮定し、各種公式を総合的に用いて検証・照査します。

■ 配列方法

■ 製作について

●かみ合わせ配列図

●突き合わせ配列図



- ※1. 目地間隔は 0.05 × L(m) を標準としますが、規格及び現場状況に応じて変更する場合があります。
- 2. 波浪が作用する斜面上の施工については、法長方向の目地間隔は原則として設けません。

現場に製作ヤード(打設・転置・仮置ヤード)を確保し製作、施工が可能です。
 狭小現場でヤード確保ができない場合など、工場にて品質管理のもとで、短納期にも対応した製造も可能です。



現在、ストーンブロックを施工中の鳥取市国府町『殿ダム』現場をご紹介します。
 使用製品は0.5トン突型タイプです。(弊社にて製造)



カーブもきれいに
 施工できてますね♪



◆製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話: **0858-73-0500**

までお気軽にどうぞ!

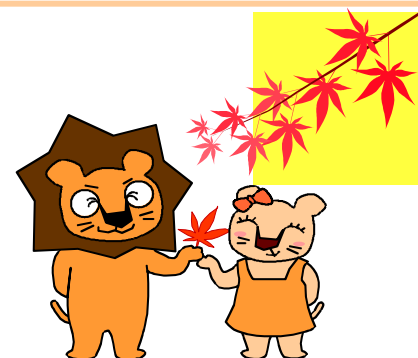
FAX : **0858-73-0535**

E-mail : **info@kooge.jp**



◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

生コン青年部全国大会が開かれる米子コンベンションセンターの外構工事は黒い種石の洗い出し平板だったのですが、冬だったため白華で白粉を吹き平板が真っ白になりました。白粉を落とす方法を探して、いろいろな会社を訪問しました。結局、下松市の日進工業(株)さんに辿り着き、安全靴も切れるほどの高圧水で白粉をはがし事無きを得ました。現場は大赤字でしたが、大変貴重な経験をしました。今でもその時にお世話になった方々には心から感謝しています。
 (山根)



<URL> <http://www.kooge.jp/>

<e-mail> info@kooge.jp